

評価による資質・能力の育成

私の専門は「自己評価」です。具体的には一枚ポートフォリオ評価（One Page Portfolio Assessment：OPPA）論を中心に研究しています。ここでの「自己評価」とは、学びにより自己の概念や考え方がどのように変わったのかを自覚することを指します。自己評価は「（今日の学習は）よかった、悪かった」というような情意面の変容に注目することが多いのですが、私の研究では認知面（思考、判断など）に注目しています。最近では「教師の教育観」の変容に注目しています。教育観とは、「教育とは何か」、「学ぶとは何か」といった教育の本質に関わる考え方を指します。物事の本質について「自己評価」により改めて問い直すことで、考え方の変容が促され、改善に必要な要素が明らかになることがわかっています。さらに、これが日本人が持ちにくいとされる「自尊心」や「自己肯定感」といった非認知能力の育成に効果があることが明らかになりつつあります。



シリーズ本『OPPA につくる授業』

非認知能力の例			
誠実性	グリット	自己制御・自己コントロール	好奇心
批判的思考	柔軟性	将来的展望	情動知能
感情調整	共感性	自尊感情	セルフコンパッション
マインドフルネス	レジリエンス	エゴレジリエンス	

非認知能力の例 小塩真司（2021）
 『非認知能力 概念・測定と教育の可能性』
 北大路出版。

産業界へのアピールポイント

- OPP シートを活用した各種研修（学習ポートフォリオによる企業研修）
- 価値観に注目した企業風土の変革
- 人材育成
- 社会人教育
- 概念や考え方の形成過程を重視した企業改革

実用化例・応用事例・活用例

- 非認知能力の評価と育成（企業との共同研究で実証済）
 以下、学校現場との連携により実証済のものをいくつかあげます。
- 学習者および教師の自己評価による授業改善
- OPPA 論を活用した教員の校内研修
- OPP シートを活用した研修履歴による教員研修



中島 雅子（ナカジマ マサコ）准教授
 教育学部

【最近の研究テーマ】

- 概念や考え方の形成過程を重視した自己評価
- 理論と実践の止揚
- 現場に生きる教育研究
- 自己評価による学習・授業改善